

法曹志望コース登録者用モデル・カリキュラム

別表 1： 4 年卒業希望者の履修すべき法学部科目（専門教育科目）

学年	科目区分	履修科目
1 年次 14 単位	基礎講義 10 単位	前期：民事法入門、刑事法入門、司法制度論； 〔法と歴史Ⅰ、比較近代法社会論〕 後期：〔日本近代法史、西洋政治思想史Ⅰまたは日本政治外交史Ⅰ・ヨーロッパ政治史Ⅰ〕 上記〔 〕内から 2 科目
	基幹講義 4 単位	前期：なし 後期：憲法Ⅰ、民法総則
2 年次 18 単位	基礎講義 2 単位	後期：法学の理論
	基幹講義 16 単位	前期：憲法Ⅱ、刑法Ⅰ、契約法・債権総論（4 単位） 後期：憲法Ⅲ、物権法、不法行為法、刑法Ⅱ
3 年次 38 単位	基幹講義 30 単位	前期：行政法Ⅰ（4 単位）、家族法、民事訴訟法（4 単位）、 会社法Ⅰ（4 単位）、刑法Ⅲ（4 単位） 後期：行政法Ⅱ（4 単位）、会社法Ⅱ、商法総論・商行為 法、刑事訴訟法（4 単位）
	展開講義 4 単位	比較憲法、国際法（4 単位）、経済法（4 単位）、社会保 障法（4 単位）、法理学Ⅰ、法理学Ⅱ、日本法制史Ⅰ、日 本法制史Ⅱ、西洋法制史特論Ⅰ、法と歴史Ⅱ、法情報学、 租税法、現代民法特論Ⅰ～Ⅲ、決済法、執行保全法、知 的財産法（4 単位）、英米法など
	学部演習 4 単位	実務演習から 2 科目（4 単位）
4 年次 18～22 単位	展開講義 14～18 単位	比較憲法、国際法（4 単位）、経済法（4 単位）、社会保 障法（4 単位）、法理学Ⅰ、法理学Ⅱ、日本法制史Ⅰ、日 本法制史Ⅱ、西洋法制史特論Ⅰ、法と歴史Ⅱ、法情報学、 租税法、現代民法特論Ⅰ～Ⅲ、決済法、執行保全法、知 的財産法（4 単位）、英米法など
	学部演習 4 単位	実務演習から 2 科目（4 単位）
以上の履修により、専門教育科目 90～94 単位を修得する。全学教育科目 39 単位と合 わせ、卒業要件単位が満たされる。		

別表 2：法科大学院飛び入学希望者及び早期卒業希望者の履修モデル（専門教育科目）

学年	科目区分	履修科目
1 年次 18 単位	基礎講義 10 単位	前期：民事法入門、刑事法入門、司法制度論； 〔法と歴史Ⅰ、比較近代法社会論〕 後期：〔日本近代法史、西洋政治思想史Ⅰまたは日本政治外交史Ⅰ・ヨーロッパ政治史Ⅰ〕 上記〔 〕内から2科目
	基幹講義 8 単位	前期：刑法Ⅰ 後期：憲法Ⅰ、民法総則、刑法Ⅱ
2 年次 30 単位	基礎講義 2 単位	後期：法学の理論
	基幹講義 24 単位	前期：憲法Ⅱ、契約法・債権総論（4 単位）、民事訴訟法（4 単位）、刑法Ⅲ（4 単位） 後期：憲法Ⅲ、物権法、不法行為法、刑事訴訟法（4 単位）
	展開講義 2 単位	※ 隔年開講のもの
	学部演習 2 単位	実務演習から1科目（2 単位）
3 年次 26～42 単位	基幹講義 18 単位	前期：行政法Ⅰ（4 単位）、家族法、会社法Ⅰ（4 単位） 後期：行政法Ⅱ（4 単位）、会社法Ⅱ、商法総論・商行為法
	展開講義 2～18 単位	比較憲法、国際法（4 単位）、経済法（4 単位）、社会保障法（4 単位）、法理学Ⅰ、法理学Ⅱ、日本法制史Ⅰ、日本法制史Ⅱ、西洋法制史特論Ⅰ、法と歴史Ⅱ、法情報学、租税法、現代民法特論Ⅰ～Ⅲ、決済法、執行保全法、知的財産法（4 単位）、英米法など
	学部演習 6 単位	実務演習から2科目（4 単位）、その他の演習から1科目（2 単位）
以上の履修により、専門教育科目 74～90 単位を修得する。全学教育科目 39 単位と合わせ、法科大学院飛び入学に必要な 100 単位以上の修得が満たされる。また、専門教育科目 90 単位以上を修得することにより、早期卒業に必要な単位数が満たされる。		

- ・ 網掛け部分は、別表 1 と異なる部分である。
- ・ 開講学期は、年度によって変更される可能性がある。